

2012. 1

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

新 年 の ご 挨 拶

佐久間 靖 博

(浪速区医師会 会長)

明けましておめでとうございます。会員の先生方におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。

昨年3月11日、午後2時から区医師会で始まった理事会の最中、出席理事の多くがめまいのような揺れを感じたとき、東北地方の太平洋沿岸は、大地震に加え、信じられないような大津波により壊滅的被害を蒙っていたのです。犠牲者、行方不明者は2万人に及びました。更には福島第一原発事故によって放射線被害を引き起こしました。今回の原発事故は人災です。絶対ということはないにしても、想定外という言葉は、最近安易に使われているようです。被災地の復興が一刻も早く成されることを心から願います。

野田内閣が昨年9月2日より発足しました。野田首相はリーダーシップに欠ける調整型といわれていますが、着々と官僚主導が見られ、我が身を削ることもなく消費増税に突っ走っています。TPPへの参加は賛否両論があるようですが、医療界においては国民皆保険制度の崩壊につながると言われています。理由はいろいろありますが、ISD条項で訴えられた場合、現実的な話になるようです。野田首相は「国民皆保険を断固守り抜く」と宣言して

いますが、マニフェストを実行できない民主党首の発言は全く説得力に欠けます。

昨年10月の大阪市長、知事ダブル選挙は維新の会の橋下氏、松井氏の圧勝に終わりました。橋下氏の人気もあったでしょうが、民主党の中央政治の閉塞感が大きな追い風になったことも否めません。府医政連が反橋下氏であったことが、今後、当医師会の厳しい財政運営に公的補助金のカットがどれほど影響を及ぼすか、危惧するところです。

本年4月には診療報酬改定があります。

「受診時定額負担」については反対署名が非常に短期間にもかかわらず、当区2,727筆(府医約27万筆、全国約773万筆)頂いたことに対して御礼申し上げます。70歳～74歳の1割負担共々今回は見送られるようです。政府予算では、医科の本体改定率はプラス1.55%、約4,700億円が計上されています。配分は中医協で協議され、2月中旬には答申される見通しですが、開業医にとってどうなるのでしょうか。

さて、予てよりの懸案事項でありました新法人への移行ですが、社団法人浪速区医師会が移行措置として、平成20年12月1日より特例民法法人となっていました。移行期限は平成25年11月30日でした。昨年5月の前



期定時総会では、一般社団法人への移行及び登記は平成24年10月1日を目標とすることで承認を得ていました。移行申請事務の煩雑さと、きりの良さで平成25年4月1日でも仕方がないという雰囲気になっていたのですが、昨年11月様子見の1回目の申請で少しの手直しで承認される見通しがつき、急遽、平成24年4月1日付けの登記が可能となりました。昨年12月28日ドキドキしながら電子申請をクリック致しました。2月21日に承認される予定です。これもひとえに、澤井副会長、岩城事務長をはじめとする関係各位の努力のたまものと感謝しております。

平成21年11月より施行されたブルーカードシステムは、その後も毎月1回の病診連携の会で議論を重ね、若手理事の尽力でますます進化し、南医師会をはじめ周辺に広がりを見せております。また、これに伴う医療クラウド構想も現実化されようとしております。

最後になりましたが、今後も引き続き、会員の皆様方の医師会活動へのご支援ご協力を切にお願い致しますとともに、本年が浪速区医師会のすべての先生方にとって良き年になりますよう、祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

理事会報告



◎平成23年度12月定例理事会

日 時 平成23年12月16日〈金〉
午後8時～9時30分
場 所 浪速区医師会 会議室

協議事項

1. 平成24年度介護認定審査委員の推薦方依頼について〈佐久間会長〉
平成24年度より申請件数の増加が見込まれることから、現在の4合議体から1合議体を増やし、5合議体にするとのこと

である。そのため、新たに審査委員2名の推薦依頼があった。

協議の結果、会長一任とすることに決定。

2. 平成24年度大阪府看護事業功労者被表彰候補者の推薦方依頼について 〈佐久間会長〉
標記のとおり、推薦方依頼があった。

協議の結果、会員へ周知することに決定。

3. 臨時総会の開催(12月21日〈水〉)と議案について 〈佐久間会長〉
大阪府の担当者より、提出した申請書類の確認が終わったとの連絡があった。このため、一般社団法人への移行に伴う臨時総会を前回理事会で決定したとおりの日程で開催することとなった。事後承諾であるが、議案についても承認いただきたい。

協議の結果、了承。

4. 平成24年度役員選挙告示について 〈佐久間会長〉
資料にもとづき検討の結果、了承。

5. 平成24年度事業計画について〈澤井副会長〉
資料にもとづき検討の結果、了承。

6. 平成24年度予算について〈菱川副会長〉
資料にもとづき検討の結果、了承。

7. 新法人移行に伴う会費賦課徴収規程について 〈菱川副会長〉
資料にもとづき検討の結果、了承。

8. 新法人移行に伴う入会金規程および徴収内規について 〈菱川副会長〉
資料にもとづき検討の結果、了承。

9. 新年互礼会(1月21日〈土〉)について 〈徳田理事〉

詳細は次のとおり。

場所：スイスホテル南海大阪7F「花桐の間」

時間：午後6時

協議の結果、了承。

ただし、来賓については一部変更することとなった。

10. 冬季休館日について <徳田理事>
平成23年12月29日(木)から平成24年1月4日(水)までとしたい。

協議の結果、了承。

11. 平成25年度の学術講演会開催日について
<富永理事>
平成25年度より、偶数月のみ第4土曜日であったのを、奇数月と同じく第3土曜日に変更したい。平成24年度については、すべての日程について製薬会社の予約が入っているので変更しない。

協議の結果、了承。

12. その他
(1) 平成24年1月1日付入会予定の森川クリニック理事長 森川浩志医師の入会区分について
理事長の森川医師は、すでに枚方市医師会において、日医A1・府医A・地区Aで入会しているため、本会への入会は地区Bのみで入会したいとのことである。
ちなみに標記クリニックの山口貴也医師(管理医師)は、日医A1・府医A 地区Aでの入会予定である。

協議の結果、了承。

報告事項

1. 郡市区等医師会長協議会について
(12月16日(金)) <佐久間会長>
次第は次のとおり。
▷開会

▷会長挨拶

▷報告事項

- (1) 平成23年度「救急の日」及び「救急医療週間」行事实施報告の件
(2) 日本の医療を守るための総決起大会
(12月9日)報告の件

▷連絡事項

- (1) 大阪府医師会指定学校医制度改定の件
(2) 1月度行事・会合日程の件

▷協議

▷閉会 (詳細 略)

2. 郡市区医師会学校保健担当理事連絡協議会について(12月14日(水))

<澤井副会長>

次第は次のとおり。

▷あいさつ

▷座長(司会)

▷学校保健指導者講習会教育ツールについて

- (1) 自分を大切に

—HIV／AIDS／性感染症—

- (2) 性感染症について

- (3) 学校における眼外傷

- (4) 学校保健と色のバリア

- (5) 学童期の視力

▷質疑応答

▷閉会 (詳細 略)

3. 社会保険講習会について

(11月30日(水)) <有田副会長>

講演内容は次のとおり。

演題 最近の指導・監査の動向と保険診療、医療における人権問題について

～ 審査上の取扱いを含めて ～

講師 大阪府医師会 副会長 茂松茂人 先生

出席者は、会員10名、従業員17名 計27名であった。

4. 予算委員会について

(12月2日(金)) <菱川副会長>

協議事項「5」「6」参照。

5. 大阪府医師会勤務医部会について
(12月1日〈木〉) <富永理事>
阪急グランドビルにて開催された。次第
は次のとおり。

▷開会
▷挨拶
▷報告

- (1) (日医) 平成23年度全国医師会勤務
医部会連絡協議会 (10/29・土)
(2) (府医) 平成23年度大阪府医師会役員と勤務
医部会役員との懇談会 (6/30・木)
(3) (府医) 平成23年度在阪5大学医師
会役員ならびに2行政医師会役員と
の懇談会 (10/12・水)

▷講演 テーマ「救急・災害医療」

- (1) 「大阪府における救急医療の基本的
考え方と課題一対策について」
(2) 「大阪府内の救急医療の現状と課題
について」
(3) 意見交換

▷閉会 (詳細 略)

6. 浪速納税協会支部長会議について
(12月15日〈木〉) <木田理事>
次第は次のとおり。

▷協会挨拶
▷議事

- (1) 平成23年分所得税確定申告関係につ
いて
①相談会場の運営について
②ブロック別研修会の開催について
③その他
(2) その他当面の諸問題について

▷税務署あいさつ

▷連絡事項 (詳細 略)

7. 第1回未来医療戦略会議について
(12月5日〈月〉) <久保田理事>
次第は次のとおり。

▷挨拶
▷Human Bridgeによる医療クラウドの
未来
▷RSbaseの実際

▷未来医療戦略会議について

▷iProjectについて

▷iProjectサイトの説明

▷その他

出席者は、医師9名、薬剤師2名、検
査会社等17名、ブルーカード事務局1
名、医師会事務局1名の計30名であった。

(詳細 略)

8. 健康展について

(11月12日〈土〉) <岡藤理事>

午後1時30分より、浪速スポーツセンタ
ー3階において開催された。

来場者数 約700名。

健康相談件数 39名(※ 昨年度実績 52名)。

内科9名、眼科12名、耳鼻咽喉科8名、
放射線科1名、皮膚科9名

出務協力医師：12名

9. 浪速区健康展実行委員会について

(12月15日〈木〉) <岡藤理事>

健康展(11月12日開催)の各委員の感想、
改善すべき点などの意見交換を行った。

10. 第27回病診連携委員会について

(11月28日〈月〉) <金田理事>

次第は次のとおり。

▷第26回病診連携委員会報告について

▷ブルーカード事例検討について

▷病診連携委員会のアンケート結果につ
いて

▷ブルーカード利用規約について

▷検査データ等添付の今後について

▷ブルーカードアプリの利用方法について

▷その他 (詳細 略)

11. 「医療情報に関する意識調査」アンケート
結果について<金田理事>

57医療機関中34件より回答があった。

12. その他

(1) 税務講習会の開催日程について

浪速税務署と調整の結果、次のとおり

に決定した。

日時 平成24年 2 月 2 日(木)午後 2 時

場所 浪速区医師会 会議室

次回会議 平成24年 1 月20日(金)午後 8 時～

2月度学術講演会のお知らせ

2 月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。

多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：2 月25日(土) 午後 2 時～

場所：浪速区医師会 会議室

演題：「ガイドラインとこれからのGERD診療
～今わかっていること・今すべきことは?～」

講師：大阪府済生会野江病院 消化器内科
部長 羽生 泰樹 先生

浪速区医師会 活動の伝言板

平成24年 2 月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

三 歳 児 健 診

●保健福祉センター

2 月23日(木) 午後 1 時40分～ 3 時30分

眼 科 澤井 貞子

耳鼻科 中村 泰久

B C G 接 種

●保健福祉センター

2 月16日(木) 午後 2 時～ 3 時30分

池田 良彦・北村 栄作

大阪市高齢者健康医療相談

●老人福祉センター 午後 2 時～ 4 時

2 月 3 日(金) 澤井 貞子

2 月 7 日(火) 金子 良恵

2 月14日(火) 大塚 治

2 月17日(金) 入野 宏昭

2 月21日(火) 川田 信哉

2 月24日(金) 麻生 五月

2 月28日(火) 徳田 好勇

産業医健康相談窓口

●浪速区医師会 午後 2 時～ 4 時

2 月 7 日(火) 菊井 祥二

2 月17日(火) 北村 栄作

急病診療所出務

●中央急病診療所

2 月 7 日(火) 午後10時～翌午前 6 時
岡藤 龍正

特 定 健 診

●保健福祉センター

2 月11日(土) 午後10時～翌午前 6 時
徳田 好勇・山田 郁子

税 務 講 習 会

●浪速区医師会 会議室

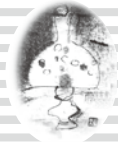
2 月 2 日(木) 午後 2 時～ 3 時

浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。
(ときに時間変更される場合がありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲 碁 部 毎月第 1・3・5 (土)

(川田信) pm 5 : 00～



あとがき

H.H

小生、69回目の新年を迎えました。うたかたの日々を過ごしているので、過去68回の新年がどのような日であったか、泡のように消えている。手元にある過去の区医便りを捲って見た。

平成18年の巻頭言で竹中前会長は「診療報酬が過去最大の引き下げになるマイナス3.16%が決定されそうだ」と書かれている。

23年、佐久間会長は「10年ぶりのプラス改定であるが僅か0.3%で厳しい」と書かれています。さらに「伯井府医師会長、原中日本医師会長が誕生」「期待され政権交代した民主党の菅首相の無能ぶり」「浪速区医師会の一般社団法人への移行準備の大変さ」「ブルーカードへの期待」などについて、熱く書かれました。

今年の新年巻頭言では「診療報酬はプラス1.55%の予定」「東日本大震災、原発事故」「説得力に欠ける野田首相の政策」「府、市のダブル選挙」「区医師会が4月1日付けで一般社団法人の登記がほぼ決定」「ブルーカードが更に進化」などが述べられています。

最近の診療報酬の変化を調べてみました。

平成13年から16年の間の小泉政権下の医療制度改革で、マイナス改定が続けられた。

平成22年、10年ぶりにプラス改定された0.3%は薬価下げ分より小さなものだった。

24年度医科改定率プラス1.55%も薬価改定率マイナス6%で帳消しにされている。全体改定率はプラス0.00%。

この十数年、報酬が下がってばかりで、全くプラス改定はなかったと個人的には実感しているが、過去の改定の裏側を精査してみると、小泉政権以来、外来医療費は全くあがっていないことが判った（病院はアップしているようだ）。

昨年1月のこの欄で小生は「日本の社会は

江戸末期や太平洋戦争後のように社会構造が一度、崩壊しないと、新しい活気ある理想の社会は復活しないのでは？」と書いたが、書いた後、「本当に崩壊した方がいいのか？」と気になっていた。その二ヶ月後に、あの悲しい、悲惨な東北の震災、津波、南紀の災害…。

橋下市長の「社会構造をガラガラポン」には期待するが、どうなるやら…。



目次

| | 目次 | ページ |
|--------------|-------|-----|
| 巻頭言 | | |
| 新年のご挨拶 | 佐久間靖博 | 1 |
| 理事会報告（12月開催） | | 2 |
| 2月学術講演会のお知らせ | | 5 |
| 浪速区医師会活動の伝言板 | | 5 |
| あとがき | | 6 |

【区医だより】

発行者 佐久間靖博
編集者 中村泰久 橋村直隆
印刷所 株式会社 サ ビ